

福岡 ウォーキング マップ

「福岡」の地名の由来

「平安時代の寛和(985~987年)の頃、京都の西の岡の人が住んだので、西の岡とも長岡とも呼んだが、江戸末期ごろ、この土地に富貴の家があったことから、これを福とし福岡と名づけた」という。

小池地区の由来

小池神社の南に田井戸があり、きれいな清水が湧き、池になった。小さな池のある村ということから「小池」と呼ばれるようになった。

東海道新幹線・東海道線・渥美線

3つの電車が走っている。運が良ければ同時に2つの電車を見ることが出来る場所もある。

橋良スポーツ広場

県道豊橋環状線高架下の広場は、いつも子どもたちのにぎやかな声が響いており、子どもからお年寄りまで多くの人が訪れる憩いの場となっている。

福岡小学校

深く考え学ぶ子・工夫して元気に活動する子・思いやりと感謝のもてる子・か体をきたえねばり強い子。

大崎街道のイチョウ並木

秋にはイチョウ並木が紅葉してとてもきれい。

歩行時間

普通歩行 約1時間45分

早歩き 約1時間10分

歩数目安

10,300歩

小池文教・歴史コース

歩行距離

約7.2km

柳生川散歩道

安全安心な散歩道。春には桜が素晴らしい。ボラの遡上もすごいよ!

潮音寺

鎌倉時代の開山と伝わるが、豊橋空襲により焼失し、現在の本堂は再建されたもの。

小池神社

創建は元和元年、本殿には胴回り1.8mの縄を2つおった長さ6m50cmのしめなわがかかけられている。

十三本塚 (とみもとづか)

十三本塚と呼ばれ、道標を兼ねた13人の人質の霊を慰める供養塔が建てられている。

愛知大学公館

明治45年に旧陸軍第十五師団長官舎として建設され、洋館と和館を巧みに折衷した造りとなっている。暖炉などが残っており、レトロな雰囲気や今に伝える。(豊橋市指定有形文化財)
※現在入館見学はできない

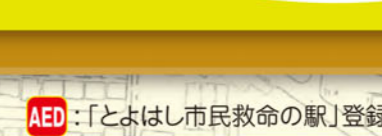
愛大前横断歩道橋

国道259号線と豊橋環状線交差点の歩道橋。豊橋市街や冬には南アルプスの雪の山並みが見える景色のよい場所。

愛知大学

学内には、明治41年に造営された旧陸軍第十五師団司令部(現愛知大学記念館)等の明治・大正時代の面影を残す建物や史跡が多くある。

「普通歩行」とは、100メートルを1分29秒で進む速さ(67m/分)
「早歩き」とは100メートルを1分で進む速さ(95~100m/分)



AED:「とよはし市民救命の駅」登録施設(令和3年3月31日)より